

令和5年度事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目 次

◆事業報告	1
◆事業報告附属明細書	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	2
(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援	2
① 出前福祉共育講座の充実	2
② 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	3
(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実	4
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	4
ア. 赤い羽根共同募金運動	4
イ. 歳末たすけあい募金運動	4
ウ. 歳末たすけあい募金配分事業	4
エ. 歳末たすけあい事業配分委員会の開催	5
② ボランティアセンター機能の充実	5
ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実	5
イ. ボランティア団体の活動支援	5
③ ボランティア養成の充実	6
ア. ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）	6
イ. 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）	7
ウ. 災害福祉救援ボランティア養成講座	7
エ. 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座	8
オ. 傾聴ボランティア養成講座	8
カ. 福祉共育サポーター養成講座	9
④ 各種奉仕員養成講座の実施	9
ア. 手話奉仕員養成講座	9
イ. 点訳奉仕員養成講座	10
ウ. 音訳奉仕員養成講座	10
⑤ 宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施	10
⑥ 善意銀行事業の推進	11
ア. 金銭の預託、払い出し	11
イ. 物品の預託、払い出し	11
ウ. 宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会への参加	12
⑦ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進	12
⑧ 高校・大学等との連携によるボランティア活動の促進【新規】	12
(3) 災害ボランティア活動の実施	13
① 宇都宮災害支援ネットワーク会議の開催	13
② 宇都宮市総合防災訓練への参加	14
③ 日本赤十字社（日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区）の活動	14
④ 国内義援金、海外救援金への協力	14
⑤ 令和6年能登半島地震の被災者支援	15
(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり	16
① 食中毒・食品衛生講習会の開催	16
② ふれあい・いきいきサロン事業の推進	16
③ ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催	17

2. 共に支え合う地域社会づくり	17
(1) 身近な地域の中での市民相互の支え合い・助け合い活動の充実	17
①コミュニティワーク（地域支援）の強化	17
②福祉協力員制度の推進	18
③福祉協力員表彰式・講演会の開催	18
④福祉協力員委嘱状交付式・研修会の開催	19
⑤安心・安全情報キット配付事業の推進	20
⑥ファミリーケアサービス事業の実施	20
⑦子ども・若者育成推進事業の実施	20
⑧老人クラブ支援の充実	21
⑨敬老会開催の支援	21
⑩援護事業の実施	21
⑪各種事業に対する後援・共催	22
⑫宇都宮市支え合い協議会の支援（旧やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会）	22
(2) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援	23
①第5次宇都宮市地域福祉活動計画の推進	23
②「地域福祉事業運営委員会」、「検討委員会」、「作業部会」の開催	23
ア. 地域福祉事業運営委員会	23
イ. 検討委員会	23
ウ. 作業部会	23
③地区福祉のまちづくり計画の策定支援	24
④地区社会福祉協議会会長研修の開催	24
⑤社会福祉法人等のつながりを促進するネットワークの構築【新規】	25
3. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	25
(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化	25
①広報紙「社協だより」の発行	25
②ホームページの充実	25
③SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運用【新規】	26
③福祉に関する情報発信機能の充実	26
(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実	27
①宇都宮市成年後見支援センター（中核機関）【新規】	27
ア. 成年後見制度に関する広報及び啓発	27
イ. 成年後見制度に関する相談及び利用支援	28
ウ. 地域連携ネットワークの運営	28
②法人後見事業の実施	28
③日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	29
④総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実	30
⑤生活困窮者自立相談支援事業の実施	31
⑥生活福祉資金等貸付事業の実施	31
⑦地域包括支援センター事業の充実	33
ア. 地域包括支援センター御本丸	33
イ. 上河内地域包括支援センター	34

4. 在宅福祉サービス事業の推進	35
(1) 様々なニーズに応じたサービスの提供	35
①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進	35
②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	35
③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	35
④福祉機器・介護用品展示室の開設	36
5. 組織体制の強化	36
(1) 会務の運営	36
①理事会の開催	36
②監事会の開催	37
③評議員会の開催	37
④評議員選任・解任委員会の開催	37
(2) 苦情解決体制	38
①第三者委員会の開催	38
(3) 身体的拘束等の適正化の推進	38
①虐待防止・身体拘束適正化検討委員会の開催【新規】	38
②地域活動支援センター合同職員研修会の開催	38
(4) 地区社会福祉協議会との連携強化	39
①地区社会福祉協議会会長会議の開催	39
②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催	39
(5) 職員育成のための研修の実施	40
①新規採用職員研修	40
②階層別研修【新規】	40
6. 自主財源の確保	41
(1) 社会福祉協議会会員制度の充実	41
(2) ぎんなん基金事業の充実	41
①ぎんなん基金の運用	41
②ぎんなん基金運営委員会の開催	42
③ぎんなん基金助成対象事業の実施	42
ア. 地区社会福祉協議会が実施する地域福祉事業への助成	42
イ. 市社会福祉協議会などが実施する事業への助成	43
7. 介護保険事業等の推進	43
(1) 訪問介護事業所の運営	43
①訪問介護事業	43
②介護予防訪問介護事業	44
(2) 通所介護事業所の運営	44
①通所介護事業	44
②介護予防通所介護事業	44
(3) 居宅介護支援事業所の運営	45
①居宅介護支援事業	45

(4) 障がい福祉サービス事業の運営	45
(5) 特定相談支援事業所の運営	45
(6) 移動支援事業の実施	46
8. 指定管理施設の管理・経営	46
(1) 総合福祉センターの管理・経営（2 施設）	46
①宇都宮市総合福祉センター	46
②河内総合福祉センター	46
(2) 老人福祉センターの管理・経営（5 施設）	47
①ことぶき会館	47
②ふれあい荘	48
③やすらぎ荘	48
④すこやか荘	49
⑤上河内	49
(3) 地域活動支援センターの管理・経営（3 施設）	50
①障がい者福祉センター	50
ア. 講座事業	50
イ. 地域活動支援センター事業	51
②雀の宮作業所	51
③若草作業所	52
(4) 指定管理施設の管理・経営の充実	52
①事業経営委員会の開催	52

－事業報告－

今日、少子高齢化の急速な進展に伴う超高齢社会の到来に加え、生産年齢人口の減少やデジタル技術の加速度的な普及に伴う情報化など、社会を取り巻く環境は大きく変化し、人々の価値観やライフスタイルも益々、多様化しています。

地域においては、社会的孤立や貧困、不登校児童の増加、ヤングケアラーの問題、さらには地域活動の担い手不足やコミュニティの脆弱化、相次ぐ自然災害など、様々な地域生活課題が多様化・複合化さらには顕在化しています。

これらの地域生活課題を解決し、年齢や性別、障がいの有無や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、一人ひとりが役割を持って支え合っていくことで、誰もが安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現が求められています。

地域生活課題が多様化する中、本会では新たに相談支援課を設置し、成年後見制度の円滑な利用を支援するための中核機関となる宇都宮市成年後見支援センターを宇都宮市から受託するとともに、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、生活困窮者自立相談支援事業、さらには心配ごと・悩みごと相談センターの各機能（事業）を集約し、ワンストップによる相談支援体制を強化しました。

また、地区社会福祉協議会が地区自治会連合会や関係機関と連携し、地区の特性に応じて創意工夫をもって取組む地域福祉活動を支援するため、ぎんなん基金助成対象事業を拡充したほか、災害時における市内の支援力を強化するため、宇都宮市や市内のボランティア・NPO 団体等との3者による宇都宮災害支援ネットワーク会議の開催、さらには、自主財源の確保のため、賛助会員や団体会員の増強に取組み一定の成果を得たほか、新たに階層別研修を実施して職員育成にも努めるなど、経営基盤の強化にも取り組んできました。

令和5年度においても、地区社会福祉協議会をはじめ、宇都宮市や自治会連合会、民生委員児童委員協議会、ボランティア・NPO 団体など、多分野の関係機関・団体等と連携しながら、本会の有する機能と役割を最大限に発揮し、地域福祉の推進に取り組みました。

－事業報告 附属明細書－

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援

①出前福祉共育講座の充実

事業の目的	子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に育む福祉共育を推進し、やさしさを育む心の醸成を図る。
-------	---

取組み内容	実施回数	参加者
障がい当事者団体やボランティア（アシスタント）の協力を得て、学校や企業・グループなどを対象に、講話や体験などを中心とした講座を開催した。	延 53 回（前年度比－13 回） ・手話体験 22 回 ・アイマスク体験 2 回 ・点字体験 15 回 ・盲導犬育成講話 7 回 ・車いす介助体験 1 回 ・ボランティア講話 4 回 ・その他 2 回	延 1,865 人 （前年度比－702 人）

事業の様子



▲聴覚障がいの理解(手話体験)



▲視覚障がいの理解(盲導犬体験)

②宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

事業の目的	すべての市民が参加し、交流する場を通して、福祉への理解と地域の連帯感を深め、安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。
-------	---

取組み内容	開催日・場所
市民相互の交流や福祉に対する理解を深める交流の場の推進を図るため、市民やボランティアが主体となる「宇都宮市民福祉の祭典」を開催した。 ○主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会 ○内容 各種表彰、模擬店、障がい者の作品展示 福祉絵画展・書道展、車いす体験、福祉パレード 伝言ダイヤル啓発・体験、各種福祉体験 スタンプラリー、ステージ発表、 モビリティ車両展示、SNSライブ配信 など	令和5年11月23日（木） 市総合福祉センター 市役所14階大会議室 オリオンスクエア 中央生涯学習センター
参加者	備考
・参加協力団体 47 団体 ・ボランティア 61 人 ・一般来場者 約 6,000 人	※福祉バザー等の収益金 165,976 円を「ぎんなん基金」に寄付した。

事業の様子



▲福祉団体による模擬店



▲福祉体験(点字体験)

(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの市民の参加を促し、多様な民間の社会福祉活動を財政面から支援する仕組みとして、募金運動を展開する。
-------	--

ア. 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	前年度比	備考
戸別募金	26,749,524 円	－779,379 円	
法人募金	1,608,795 円	＋358,799 円	177 事業所
街頭募金	208,062 円	＋132,260 円	9 団体
学校募金	1,500,935 円	－142,176 円	136 校
職域募金	656,297 円	＋29,575 円	126 箇所
その他の募金	891,038 円	＋127,460 円	
合計	31,614,651 円	－273,461 円	

イ. 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	前年度比	備考
戸別募金	18,338,043 円	－180,539 円	
篤志募金	42,608 円	＋22,195 円	5 件
合計	18,380,651 円	－158,344 円	

ウ. 歳末たすけあい募金配分事業

配分種別	配分額	前年度比	備考
施設配分	1,972,440 円	＋126,470 円	通所の障がい者施設 56 施設 民間保育園 15 園
団体配分	433,800 円	＋84,250 円	当事者団体 9 団体
地域配分	5,971,500 円	＋232,794 円	37 地区社協
地域福祉活動 事業配分	9,777,235 円	＋225,260 円	
合計	18,154,975 円	＋668,774 円	翌年度繰越額：225,676 円

エ. 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

開催日	議 題
令和 5 年 8 月 30 日 (水)	(議事) ・ 委員長及び副委員長の選任について ・ 令和 5 年度歳末たすけあい配分事業の実施について

②ボランティアセンター機能の充実

(総事業費 1,665,036 円)

事業の目的	市民の社会福祉に関する理解と関心を深めるとともに、近隣の市民が助け合うことを基本としたボランティア活動の推進を図る。
-------	--

ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実

各種相談・問合せ	ボランティア活動調整	ボランティア登録数
7,196 件 (前年度比+456 件)	179 件 (前年度比+7 件)	・ 団体 328 団体 11,399 人 (前年度比-17 団体-419 人) ・ 個人 66 人 (前年度比-19 人)

イ. ボランティア団体の活動支援

a. 宇都宮ボランティア協会の活動支援

取組み内容
宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。(助成額 250,000 円)
○主な事業
・ ボランティア相談
・ 各種研修会・交流会の開催
・ パネル展示による活動紹介
・ 宇都宮市民福祉の祭典への参加協力
・ 広報紙「はこべ」の発行 (年 2 回) など

b. ボランティア活動用機材の貸出

取組み内容	貸出件数	貸出物品
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動に必要な機材の貸出を行い、活動を支援した。	213 件 (前年度比-24 件)	パソコン 液晶プロジェクター スクリーンなど

c. ボランティアルームの貸出

取組み内容	利用件数
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出を行い、活動を支援した。	延 149 団体 969 人 (前年度比－18 団体－94 人)

d. ボランティアロッカーの貸出

取組み内容	利用団体数
登録しているボランティア団体を対象にロッカーの貸出を行い、活動を支援した。	利用団体 32 団体 (前年度比±0 件)

e. 対面朗読サービスの実施

取組み内容	実施回数など
視覚障がいのある方などに対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面で読み上げるサービスを、音訳ボランティアの協力で実施する。	利用希望者なし

③ボランティア養成の充実

ア. ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）

事業の目的	親子や社会人などが参加しやすい土曜日に開催し、福祉のまちづくりの一助となるボランティア活動の“きっかけ”をつくる。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
・聴覚障がいを学ぼう ・視覚障がいを学ぼう ・精神障がいを学ぼう ・発達障がいを学ぼう	令和 5 年 7 月 1 日（土） 令和 5 年 7 月 22 日（土） 令和 5 年 8 月 26 日（土） 令和 6 年 2 月 20 日（土） 市総合福祉センター	延 61 人 (前年度比－22 人)

イ. 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）

事業の目的	高校生から大学生、専門学校生を対象に、ボランティア活動のきっかけをつくり、身近な地域でのボランティア活動の推進を図る。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
・ボランティア講話 ・ふれあい・いきいきサロン講話・交流 （交流協力サロン） 下栗4丁目自治会さわやかサロン	令和5年8月3日（木） 令和5年8月4日（金） 市総合福祉センター	延 12 人 （前年度比－8 人）

事業の様子



▲ふれあい・いきいきサロン利用者との交流▲

ウ. 災害福祉救援ボランティア養成講座

事業の目的	減災意識の向上と減災活動の実践につなげるとともに、災害時のボランティアを養成する。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
○講話 ・災害に対する心構え ○身体、聴覚、視覚障がいの理解 ○実技 ・避難所等で役立つ生活支援 など	令和5年6月3日（土） 令和5年6月10日（土） 令和5年6月17日（土） 市総合福祉センター	延 45 人 （前年度比－10 人）

エ. 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座

事業の目的	災害福祉救援ボランティア養成講座の修了生を対象に実施し、災害ボランティアの知識と技術の向上を図る。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
○講義 ・災害ボランティアセンターの活動 ○実技 ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 ・宇都宮市総合防災訓練への参加	令和5年7月29日(土) 令和5年8月5日(土) 市総合福祉センター 上河内中学校	11人 (前年度比±0人)

オ. 傾聴ボランティア養成講座

事業の目的	高齢者が抱える不安や孤独に耳を傾け、孤独感を解消するための「傾聴活動」に必要な技能を学ぶ。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
○講義 ・傾聴の基本、認知症の理解など ○ロールプレイ(模擬演習) ○施設実習 など	令和5年9月5日(火) 令和5年9月19日(火) 令和5年9月26日(火) 令和5年10月3日(火) 市総合福祉センター	延76人 (前年度比+17人)

カ. 福祉共育サポーター養成講座

事業の目的	出前福祉共育講座をより効果的に展開するため、福祉共育サポーターを養成する。
-------	---------------------------------------

取組み内容	開催日・場所	参加者
○講義、グループワーク ・福祉共育について学ぼう ○体験 ・身体障がいの理解 ・視覚障がいの理解	令和 6 年 2 月 26 日 (月) 令和 6 年 3 月 11 日 (月) 市総合福祉センター	28 人 (前年度比+4 人)

事業の様子



▲出前福祉共育講座で活躍するアシスタントの養成(講義・体験)▲

④各種奉仕員養成講座の実施【宇都宮市からの受託事業】

(総事業費 2,013,353 円)

ア. 手話奉仕員養成講座

事業の目的	聴覚に障がいのある方に対し、手話によるコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内容	開催日・場所	受講人数
入門過程 基礎課程	手話の基礎知識と実技 手話の応用知識と実技	令和 5 年 5 月 ~令和 6 年 3 月 毎週水曜日 (全 40 回) 市総合福祉センター	延 550 人 (前年度比+311 人)

イ. 点訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本などの印刷物を点字にして、点字による情報提供を行う点訳奉仕員を養成する。
-------	---

実施コース	内容	開催日・場所	受講人数
入門過程 中級課程	点訳の基礎知識と実技 点訳の応用知識と実技	令和5年5月 ～令和6年3月 毎週火曜日 (全40回) 市総合福祉センター	延274人 (前年度比－112人)

ウ. 音訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本や印刷物を朗読し、テープなどに録音して、音声による情報提供を行う音訳奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内容	開催日・場所	受講人数
初級過程 中級課程	音訳の基礎知識と実技 音訳の応用知識と実技	令和5年5月 ～令和6年3月 毎週水曜日 (全35回) 市総合福祉センター	延238人 (前年度比－106人)

⑤宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成18年10月1日受託）】

（総事業費 428,743 円）

事業の目的	聴覚障がい者などを対象に、日常生活を営む上でコミュニケーションを必要とするときに要約筆記者を派遣し、社会参加を円滑にする。
-------	---

派遣依頼数	活動筆記者数
22 件 (前年度比 －1 件)	41 人 (前年度比－3 人)

⑥善意銀行事業の推進

事業の目的	市民などからの善意の金銭や物品の預託を受け、必要とするところに払い出しを行い、市民相互の支え合い・助け合い活動を推進する。
-------	---

ア. 金銭の預託、払い出し

	項目	金額 (物品は換金額)	前年度比
預託	現金	2,935,900 円	－5,300,353 円
	使用済み切手 書き損じはがき	0 円	－45,181 円
	プルタブ	17,270 円	－33,495 円
	入れ歯リサイクル	0 円	±0 円
	前年度繰越金	22,585,003 円	＋5,528,887 円
	預託金合計	25,538,173 円	＋149,858 円
払出	指定払出し	60,000 円	－50,000 円
	宮っこの居場所への払い出し	2,663,600 円	＋1,056,000 円
	事業費支出	23,430 円	－1,062,282 円
	払い出し合計	2,747,030 円	－56,282 円
次年度繰越金		22,791,143 円	＋206,140 円

イ. 物品の預託、払い出し

	項目	件数	前年度比
預託	収集物品 (使用済み切手、プルタブなど)	178 件	＋65 件
	その他物品 (車いす、タオル、衣類、食品など)	17 件	－2 件
	預託件数合計	195 件	＋63 件
払出	施設や団体等 (衣類・食品など)	41 件	＋16 件
	払い出し件数合計	41 件	＋16 件

ウ. 宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会への参加

事業の目的	企業や個人などの居場所支援者からの金銭や物品等の寄付などを、支援を必要とする居場所運営者へ適切につなぐため、市等と連携する。
-------	--

取組み内容
○第1回宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会議への参加 令和5年5月12日（金） ○寄付金の受入れ 26件 2,812,200円 ○宇都宮市宮っこの居場所への払出し 91件 2,663,600円（参考：子どもの居場所登録団体数 24件）

⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進

【宇都宮市からの受託事業（平成26年6月25日受託）】

（総事業費 24,337,468円）

事業の目的	高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを促進する。
-------	---

取組み内容	登録団体など
高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを促進する事業の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。	- 登録団体数 472団体（前年度比－20団体） - 事業対象者数 13,225人（前年度比＋294人）

⑧高校・大学等との連携によるボランティア活動の促進【新規】

事業の目的	高校・大学等と地域住民や関係団体が連携することで、地域の現状や課題に興味・関心を持って我が事として捉え、地域づくりの担い手となるようボランティアなどの活動を促進する。
-------	---

取組み内容
○大学等と地域の連携支援 - 豊郷地区社会福祉協議会研修会の開催支援 演題『つながる楽しさと地域福祉』 講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会 理事長 廣瀬 隆人 氏（元宇都宮大学教授） ○大学生サークルとボランティア活動の連携支援 - 大学生と障がい当事者保護者との懇談会の実施支援

(3) 災害ボランティア活動の実施

①宇都宮災害支援ネットワーク会議の開催

事業の目的	宇都宮市、市社協、市内のボランティア・NPO 団体等による災害時の連携支援体制を構築する。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
○研修 「栃木県の“気象特性と地震・台風”を知る」 講師：気象庁宇都宮地方気象台 ○現状報告 災害時における「市社協の役割」 ○グループワーク 災害時における支援課題と、お互いの強みを生かした連携・協働体制	令和6年2月2日（金） 河内総合福祉センター	13 団体 31 人

参加団体

- ・宇都宮ボランティア協会
- ・宇都宮青年会議所
- ・宇都宮大学学生ボランティア支援室
- ・宇都宮大学地域デザイン科学部附属地域デザインセンター地域防災部門【新規】
- ・宇都宮まちづくり市民工房
- ・とちぎユースサポーターズネットワーク
- ・とちぎボランティアネットワーク
- ・とちぎ YMCA
- ・DRF 宇都宮
- ・栃木県社会福祉協議会
- ・栃木県共同募金会
- ・宇都宮市
- ・宇都宮市社会福祉協議会



▲グループワーク（多様な機関が一室に集まり意見交換）▲

②宇都宮市総合防災訓練への参加

事業の目的	災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し訓練を行う。
-------	--

取組み内容	開催日・場所	参加者
「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を災害ボランティア養成講座修了生と協働で実施した。	令和 5 年 8 月 5 日（土） 上河内中学校	7 人 (前年度比+7 人)

③日本赤十字社（日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区）の活動

事業の目的	日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区として、日本赤十字社の活動を推進する。
-------	--------------------------------------

取組内容	実績等	前年度比
日赤活動資金 (社資)	40,729,421 円	－2,074,830 円
災害救援物資 の配付	6 件 (弔慰金対応 1 件)	－10 件

④国内義援金、海外救援金への協力

事業の目的	日本赤十字社栃木県支部宇都宮市地区として、各種の国内義援金、海外救援金に協力する。
-------	---

	種別	受付金額 (R6. 3. 31 現在)
国内義援金	○令和 5 年 7 月 7 日大雨災害義援金	1,797 円
	○令和 5 年 5 月能登半島地方地震災害義援金	19,009 円
海外救援金	○ウクライナ人道危機救援金	32,669 円
	○トルコ・シリア地震救援金	14,304 円

⑤令和6年能登半島地震の被災者支援

事業の目的	令和6年元日に発生した能登半島地震の被災者支援のため、支援活動を行う。
-------	-------------------------------------

取組み内容		受付金額 (R6.3.31 現在)
ア. 義援金受付窓口の設置 市民や企業・団体等からの義援金受付窓口を設置した。  ▲市自治会連合会からは 18,430,385 円の義援金が寄せられた	○受付期間 令和6年1月4日(木)～ 令和6年12月20日(金) ○受付場所 市総合福祉センター1階 ○受付曜日・時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 8時30分～17時15分	20,400,567 円
イ. 義援金募金箱の設置 市内7か所の指定管理施設に募金箱を設置した。	○設置場所 総合福祉センター2館 老人福祉センター5館	88,516 円
ウ. 街頭募金の実施 市社協役職員及び宇都宮ボランティア協会会員等のボランティアとの協働で実施した。  ▲街頭募金の様子	○実施日 令和6年1月19日(金) 令和6年1月26日(金) JR宇都宮駅東西自由通路	659,750 円

(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

①食中毒・食品衛生講習会の開催

事業の目的	ふれあい会食事業に携わる福祉協力員や民生委員などを対象に、食中毒防止などに関する講習を行い、事業実施に伴う食の安全・安心の確保を図る。
-------	---

取組み内容	開催日・場所	参加者
○講習 『食中毒予防の基本と正しい手洗いの方法』 講師：宇都宮市保健所 『高齢者に必要な栄養素と簡単レシピ』 講師：ウエルシア薬局株式会社 ○情報交換	令和5年6月19日(月) とちぎ福祉プラザ	70人

②ふれあい・いきいきサロン事業の推進

【赤い羽根共同募金配分事業】【ぎんなん基金助成事業】

事業の目的	高齢者、障がい者及び子どもなどが身近な場所に気軽に集い、ふれあいを通して仲間づくりや生きがいつくりの輪を広げ、参加者の悩みや不安の解消を図る。
-------	---

取組み内容	サロン設置数
○ふれあい・いきいきサロン事業助成 1 サロンあたり 24,000 円を上限に助成した。(毎年度助成) (305 サロン 助成総額 7,198,000 円)	39 地区 328 箇所 (休止中含む)
○ふれあい・いきいきサロン健康事業助成 参加者の健康増進のための器具を購入する際の経費として、 25,000 円を上限に助成した。(1 サロン 1 回限り) (3 サロン 助成総額 74,764 円)	

③ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催

事業の目的	ふれあい・いきいきサロン事業の効果的な運営とサロン相互の連携を促進する。
-------	--------------------------------------

取組み内容	開催日・場所	参加者
○事例発表 「地域共生社会におけるサロン活動」 (豊郷地区) ・ニュー富士見ローズタウン自治会 ふれあい・いきいきにじいろサロン (横川地区) ・下栗4丁目自治会さわやかサロン ○情報交換会	令和5年12月15日(金) パルティとちぎ男女共同 参画センター 令和5年12月21日(木) 市立南図書館	220人

事業の様子



▲事例発表(動画視聴)



▲情報交換会

2. 共に支え合う地域づくり

(1) 身近な地域の中での市民相互の支え合い・助け合い活動の充実

①コミュニティワーク(地域支援)の強化

事業の目的	市内39地区において、住民主体の地域福祉活動が地域の特性を生かしながら円滑に展開されるよう、コミュニティワーク(地域支援)を強化する。
-------	---

取組み内容	地区担当職員配置数
地区担当職員をブロックごとに配置し、各地区社協の活動や好事例などの情報提供などの支援を行った。 ・地区担当職員による延支援回数 953回 (前年度比+499回)	8人

②福祉協力員制度の推進

事業の目的	地域福祉及び在宅福祉の効率的運営と組織的活動を促進し、社会福祉の増進を図るため福祉協力員制度を推進する。
-------	--

取組み内容
小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。（助成総額 4,276,000 円） ・福祉協力員数 39 地区 2,447 人（前年度比 -67 人）

③福祉協力員表彰式・講演会の開催

事業の目的	身近な地域における見守りや声かけ活動などの地域福祉活動を長年実践してきた福祉協力員に対し、その功績を称える。
-------	--

取組み内容	開催日・場所	参加者
○福祉協力員表彰 (20 年表彰) 受賞者 16 地区 38 人 (10 年表彰) 受賞者 37 地区 158 人 ○講演会 演題『ご近所の「あい」から始まる地域づくり』 講師：ご近所クリエイション ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏	令和 5 年 10 月 18 日（木） 宇都宮市文化会館	350 人

事業の様子



▲表彰式の様子



▲酒井保氏による講演

④福祉協力員委嘱状交付式・研修会の開催

事業の目的	福祉協力員を委嘱するとともに、研修を実施することでスキルアップと地区における地域福祉活動の活性化を図る。
-------	--

取組み内容	開催日・場所	参加者
○福祉協力員委嘱者数 ・2,447人 ○研修 テーマ「福祉協力員の活動について」 ○活動事例発表 ・第1回、第2回 (発表者) 豊郷地区社会福祉協議会 理事 桑野 和子 氏 ・第3回、第4回 (発表者) 明保地区社会福祉協議会 会長 角田 宣之 氏	午前、午後の2回に分けて2日間(計4回)開催 令和5年 7月10日(月) とちぎ健康の森 令和5年 7月13日(木) 市立南図書館	731人

事業の様子



▲委嘱状の交付



▲研修会(事例発表)

⑤安心・安全情報キット配付事業の推進

事業の目的	本人情報が即座に確認できる「キット」を配付することで、救急時における速やかな対応と見守り活動を促進し、安全・安心な日常生活が送れる地域社会を構築する。
-------	---

取組み内容	配付数
在宅の高齢者及び障がい者などに対し、「安心・安全情報キット」を配付した。	・令和5年度配付本数 18地区 1,522本 (累計配付本数 39地区 延 27,094本)

事業の様子



▲安心・安全情報キットの配付

⑥ファミリーケアサービス事業の実施

(総事業費 2,198,241 円)

事業の目的	日常生活を営む上で、支援が必要な高齢者や障がい者などの世帯(利用会員)に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供する。
-------	--

サービス内容	会員数	利用実績
掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添いなど	・利用会員 35人 (前年度比-3人) ・協力会員 13人 (前年度比 +1人)	・利用件数 延 1,430件 (前年度比 -200件) ・利用時間 延 1,705時間 (前年度比 -264時間)

⑦子ども・若者育成推進事業の実施

事業の目的	不登校の子どもや引きこもり等、生きづらさを抱える若者が様々な人との出会いや活動により、自分の個性を生かし、前向きな気持ちで生活できるような場を提供する。
-------	--

取組み内容
○子どもの居場所等への支援検討のための実態調査の実施 ・宮っこの居場所 38カ所 ・宇都宮市内のフリースクール 3カ所

⑧老人クラブ支援の充実

事業の目的	老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進し、高齢者福祉及び地域福祉の向上発展に寄与する。
-------	---

取組み内容	クラブ数・会員数
高齢者の介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブや地区連絡協議会を支援し、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業支援を行った。 また、老人クラブのつどい（式典）の開催に伴いぎんなん基金助成金を交付し、活動を支援した。 (助成額 100,000 円)	・クラブ数 250 クラブ ・会員数 12,850 人
取組み内容	
○主な事業 ・老人クラブ社会奉仕の日（年 3 回） 延 5,687 人 ・機関紙の発行（年 3 回） ・地区体育大会 10 地区 2,007 人 ・地区歩け歩け大会 21 地区 1,487 人 ・加入促進運動強化月間 1 月～3 月 ・リーダー研修会の開催 など	

⑨敬老会開催の支援

事業の目的	高齢者を敬い、励まし、高齢者福祉に対する市民の理解や関わりを深めながら、市民全体で協力して活力ある長寿社会を築くため、敬老会の開催を支援する。
-------	---

取組み内容
地区社会福祉協議会、宇都宮市、市社会福祉協議会の共催により開催する敬老会の開催費用の一部を助成した。 39 地区社協へ助成（助成総額 5,501,235 円）

⑩援護事業の実施

事業の目的	所持金の紛失などにより、目的地まで行くことのできない行旅人に対し、旅費の貸付を行う。
-------	--

貸付限度額	貸付人数など
1 人 600 円（1 人 1 回限り）	・貸付人数 38 人（前年度比±0 人） ・貸付額合計 22,800 円

⑪各種事業に対する後援・共催

事業の目的	各団体などが開催する事業に対し、後援・共催を行う。
-------	---------------------------

取組み内容	
・共催	0 件（前年度比±0 件）
・後援	25 件（ボランティア団体など）（前年度比+6 件）

⑫宇都宮市支え合い協議会の支援

（旧やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会）

事業の目的	高齢者、障がい者並びに児童をはじめとするすべての市民、行政及び事業者が協働、共創しながら、地域の支え合い活動を支援することにより、誰もが住み慣れた地域で絆を深めながら共に支え合う地域共生社会を実現することを目的とした活動を支援する。
-------	--

開催日	議題
令和 5 年 11 月 13 日(月)	○やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会定期総会（議事） ・令和 4 年度事業報告について ・令和 4 年度収支決算について ・「宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会」の解散及び「宇都宮市支え合い協議会」の設立について ○宇都宮市支え合い協議会設立総会（議事） ・宇都宮市支え合い協議会会則（案）について ・役員の選出について

(2) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

①第5次宇都宮市地域福祉活動計画の推進

事業の目的	ともに支え合い助け合う“向こう三軒両隣”の地域共生社会の実現を目指し、第5次宇都宮市地域福祉活動計画を推進する。
-------	--

取組み内容
第5次宇都宮市地域福祉活動計画の推進と進行管理を行うため「地域福祉事業運営委員会」、「検討委員会」、「作業部会」を開催した。
(計画推進期間) 令和5年度～令和9年度

②「地域福祉事業運営委員会」、「検討委員会」、「作業部会」の開催

ア. 地域福祉事業運営委員会の開催

開催日	議題
令和6年 3月1日(金)	(協議事項) ・令和5年度地域福祉・ボランティア事業等の取組について ・第5次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

イ. 検討委員会の開催

開催日	議題
令和5年 8月31日(水)	(協議事項) ・第5次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和6年 2月16日(金)	(協議事項) ・第5次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

ウ. 作業部会の開催

開催日	議題
令和5年 8月1日(火)	(報告事項) ・第5次宇都宮市地域福祉活動計画推進スケジュールについて ・第5次地域福祉活動計画目標管理シートについて (協議事項) ・グループワーク
令和5年 10月25日(水)	(協議事項) ・第5次地域福祉活動計画 進捗状況の確認について
令和6年 2月1日(木)	(協議事項) ・第5次地域福祉活動計画 進捗状況の確認について

③地区福祉のまちづくり計画の策定支援

事業の目的	地域の福祉課題の解決を図るため、住民が主体となり、地区の実状に沿った地域福祉推進の指針となる地区ごとの「福祉のまちづくり計画」の策定を支援する。
-------	--

取組み内容	
○未策定地区への支援 ・計画策定マニュアルの改定 ・地区社会福祉協議会会長会議における周知、説明 など ○策定済み地区への支援 ・更新支援 3 地区	

④地区社会福祉協議会会長研修の開催

事業の目的	先駆的な活動の視察や先進的な活動に取り組んでいる地区の発表等を通じ、地区社協が実施する地域福祉活動のさらなる活性化と地区社協間の交流を図る。
-------	--

取組み内容	開催日・場所	参加者
テーマ『地域住民の連携による福祉のまちづくり』 ・講習「小地域における地域福祉活動計画の策定」 講師：日光市社会福祉協議会 松田 大樹 氏 ・演習「福祉 SOS ゲームから地域支援について考える」 講師：那須塩原市社会福祉協議会 柴田 直也 氏	令和 5 年 12 月 1 日（金） 市総合福祉センター	55 人

事業の様子



▲小地域福祉活動計画の講習



▲福祉 SOS ゲームから考える地域支援

⑤社会福祉法人等のつながりを促進するネットワークの構築【新規】

事業の目的	福祉課題の解決に向け、社会福祉法人等の専門性や強みを生かし、地域共生社会の実現に資する取り組みを創出するため、市内の社会福祉法人等によるネットワークの構築を図る。
-------	---

取組み内容
○先進事例の調査・研究 ・社会福祉法人ネットワーク化を検討するための先進事例の調査・研究 ○地域福祉活動における企業等との連携 ・ウエルシア薬局株式会社／食中毒・食品衛生講習会 ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業 ・ユースキン製薬株式会社／ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業

3. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

①広報紙「社協だより」の発行

事業の目的	広報紙「社協だより」を発行することで福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	--

取組み内容	発行部数
・第188号 令和5年4月20日発行 ・第189号 令和5年7月1日発行 ・第190号 令和5年10月1日発行 ・第191号 令和6年2月1日発行	各号 21,000部を発行

②ホームページの充実

事業の目的	「ホームページ」を活用して福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	閲覧数
福祉に関する情報や、社協の事業などを発信した。	月平均 約 5,500件

③公式 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運用【新規】

事業の目的	SNS が持つ即時性、拡散性等の機能を活かして、福祉情報を全世代に広く発信することにより、地域福祉活動への参加を促進する。
-------	---

取組み内容	投稿数
公式 SNS を導入し、デジタルを活用した福祉情報を発信した。 ・運用開始日 令和 5 年 7 月 1 日 ・導入した SNS LINE、Instagram、Facebook	投稿数 99 件 (月平均 9 件)

④福祉に関する情報発信機能の充実

事業の目的	地域の福祉拠点として指定管理施設を活用し、福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	実施施設
・各種地域福祉講座、講習会などの福祉情報の提供 ・車いすなどの福祉機器の貸出 など	・総合福祉センター 2 施設 ・老人福祉センター 5 施設 ・地域活動支援センター 3 施設

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

①宇都宮市成年後見支援センター（中核機関）【新規】

【宇都宮市からの受託事業（令和5年4月1日受託）】

（総事業費 18,898,000 円）

事業の目的	認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分なため、権利擁護支援が必要な方が成年後見制度を円滑に利用できるよう、法律・福祉等の関係機関と連携し、相談から具体的支援につなげる体制を市とともに整備し利用促進を図る。
-------	--

○宇都宮市成年後見支援センター開所（令和5年10月2日）

ア. 成年後見制度に関する広報及び啓発

内容	開催日・場所	参加者
○市民向け講演会 ・成年後見制度について 演題『認知症になった波平さん』 講師：渡辺 哲雄 氏(老いの風景作者)	令和6年1月27日(土) とちぎ福祉プラザ	125 人
○一次相談機関向け研修会 【制度編】 ・成年後見制度の説明やメリット・デメリットなど 講師：佐伯 祐子 氏(司法書士)	【制度編】 令和6年1月16日(火) 河内総合福祉センター	71 人
【支援編】 ・成年後見制度のポイントや申立時の注意点など 講師：佐伯 祐子 氏(司法書士)	【支援編】 令和6年2月14日(水) 河内総合福祉センター	32 人
○各種会議への参加 一次相談機関や専門職団体等の会議に出席し、成年後見支援センターの機能等の説明を行った。(9回)		
○制度普及チラシの作成、配布 作成したチラシを宇都宮市や市内関係機関へ配布した。(5,200部)		
○ホームページ等への掲載 ホームページや広報紙、SNSに掲載して市民等への広報・啓発を行った。		

イ. 成年後見制度に関する相談及び利用支援

- ・ 市民や一次相談機関等から寄せられる成年後見に関する相談に応じた。

相談種別	件数	相談種別	件数
法定後見	104 件	保健福祉サービス	4 件
進捗確認	39 件	金銭書類管理	2 件
相続	20 件	受任者調整	1 件
制度利用支援	14 件	医療相談	1 件
生活課題	10 件	その他	19 件
任意後見	8 件	合計 (うち新規相談)	222 件 (91 件)

- ・ 地域ケア会議への出席 1 回

ウ. 地域連携ネットワークの運営

開催日	内容
令和 5 年 8 月 4 日 (金) 令和 6 年 2 月 19 日 (月)	・ 成年後見制度利用促進協議会の開催 (2 回)

②法人後見事業の実施

事業の目的	認知症や知的障がいなどの理由により、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として成年後見人等となり、財産管理、身上保護を行うことで利用者の権利を擁護する。
-------	--

取組み内容

○法人後見受任件数

区 分	件数	前年度比
後見類型	6 件	+1 件
保佐類型	0 件	±0 件
補助類型	0 件	±0 件
合計 (延)	6 件	+1 件

○相談件数

28 件 (前年度比 -71 件) 令和 5 年 10 月～中核機関設置に伴う相談窓口へ移行
(主な相談内容)
成年後見制度の内容や手続きに関すること

○法人後見運営委員会

令和 6 年 1 月 11 日 (木)

③日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業（平成 11 年 10 月 1 日受託）】

（総事業費 11,265,288 円）

事業の目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方に対し、相談や福祉サービスの利用援助、金銭管理などのサービスを提供する。
-------	---

取組み内容																							
○担当地区	宇都宮市																						
○一般相談	月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分																						
○契約者数	91 人（新規契約者＋20 人） （前年度比：契約者数±0 人、新規契約者数＋4 人）																						
○相談件数	1,833 件（前年度比－739 件） （主な相談内容） ・ 契約者からの支援内容や金銭払い出しに関すること																						
○相談者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>相談件数</th><th>前年度比</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td><td>520 件</td><td>－162 件</td></tr> <tr> <td>知的障がい者</td><td>367 件</td><td>－114 件</td></tr> <tr> <td>精神障がい者</td><td>792 件</td><td>－401 件</td></tr> <tr> <td>身体障がい者</td><td>88 件</td><td>－45 件</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>66 件</td><td>－17 件</td></tr> <tr> <td>合計（延）</td><td>1,833 件</td><td>－739 件</td></tr> </tbody> </table>		区 分	相談件数	前年度比	認知症高齢者	520 件	－162 件	知的障がい者	367 件	－114 件	精神障がい者	792 件	－401 件	身体障がい者	88 件	－45 件	その他	66 件	－17 件	合計（延）	1,833 件	－739 件
区 分	相談件数	前年度比																					
認知症高齢者	520 件	－162 件																					
知的障がい者	367 件	－114 件																					
精神障がい者	792 件	－401 件																					
身体障がい者	88 件	－45 件																					
その他	66 件	－17 件																					
合計（延）	1,833 件	－739 件																					

④総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実
（総事業費 3,332,153 円）

事業の目的	市民が抱える各種の問題について広く相談に応じ、適切な助言指導を行うとともに、各相談機関との連携を図る。
--------------	---

取組み内容			
○相談内容と相談件数			
相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
生計問題	3 件	財産問題	19 件
年金問題	0 件	交通事故問題	1 件
職業・生業問題	4 件	児童福祉・母子保健問題	0 件
住宅問題	10 件	教育・青少年問題	1 件
家族問題	45 件	心身障がい者福祉問題	2 件
結婚問題	1 件	ひとり親福祉問題	0 件
離婚問題	7 件	高齢者福祉問題	6 件
健康・衛生問題	1 件	苦情問題	3 件
医療問題	2 件	その他	20 件
精神衛生問題	399 件	合計 524 件（前年度比＋12 件）	
人権・法律問題	0 件		
※開設回数 延 243 回 （うち特別相談日 15 回、巡回相談は新型コロナウイルス感染症予防のため、令和 5 年 9 月まで休止し、10 月から再開した。）			
○心配ごとや悩みごとの相談			
月曜日～金曜日			
○特別相談（毎月各 1 回）			
第 3 火曜日：弁護士の法律相談			
第 3 水曜日：知的障がい者の生活相談			
第 3 木曜日：更生や犯罪予防に関する相談			
第 3 金曜日：こころの悩み相談			
○生活福祉相談員研修会の開催			
開催日	令和 6 年 2 月 13 日（火）		
参加人数	9 人		
研修テーマ	相談活動の基礎知識		
内 容	「支援者の基本姿勢と相談援助の基本的スキル」 講師：作新学院大学女子短期大学部 教授 坪井 真 氏		

⑤生活困窮者自立相談支援事業の実施

【宇都宮市からの受託事業(平成26年6月25日モデル事業受託/平成27年4月1日受託)】
(総事業費 48,999,999 円)

事業の目的	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、自立に向けた相談支援を行う。
-------	---

取組み内容

○相談などの内訳

区 分	件数など	前年度比
新規相談件数（新規受付実人数）	675 件	－1,075 件
自立に向けたプラン作成件数	306 件	－90 件
就労支援対象者数	94 人	＋8 人
就職及び増収者数	76 人	＋32 人
支援回数	5,041 件	－4,909 件

○住居確保給付金の申請対応

新規申請件数	延支給世帯数
29 件	167 世帯

○コロナ特例貸付償還猶予申請対応（自立相談支援事業による支援介入分）

新規申請件数	猶予延長者支援件数
95 件	53 件

⑥生活福祉資金等貸付事業の実施【栃木県社会福祉協議会からの受託事業】

(総事業費 22,610,953 円)

事業の目的	低所得者世帯などに対して、低金利または無利子での資金の申請支援と必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の向上・社会参加の促進を図る。
-------	--

取組み内容		
・相談件数 延 1,066 件 (前年度比 －2,530 件)		
・申請状況など		
	資金種別	申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	2 件
	福祉資金 (福祉費)	4 件
	福祉資金 (緊急小口資金)	9 件
	教育支援資金	9 件
	不動産担保型生活資金	1 件
臨時特例つなぎ資金		0 件
合 計		25 件 (前年度比 ＋3 件)

取組み内容

○償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援

- ・訪問、架電等のアウトリーチによる生活状況の把握

(アンケートの実施)

送付件数	880 件
回答件数	405 件

- ・自立相談支援機関への借受人に関する情報提供
58 件

○償還免除申請に未応答の借受人に対するフォローアップ支援

借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内
5,933 人

○償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

- ・償還猶予、償還計画変更、少額返済の受付及び意見書の作成
329 人

⑦地域包括支援センター事業の充実

ア. 地域包括支援センター御本丸

【宇都宮市からの受託事業（平成 18 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 39,297,491 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	---

取組み内容	
○担当地区 ・中央地区、築瀬地区、城東地区	
○総合相談支援事業 ・相談者数 延 925 人（前年度比＋457 人）	
○地域ケア会議の開催 ・中央地区（2 回）、築瀬地区（2 回）、城東地区（2 回） 1 回目／重層的支援体制整備事業について 2 回目／地域の防犯について見守り活動会議（城東地区単位自治会ごと） 7 回	
○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業 ・介護予防支援プラン作成 延 1,614 件 （うち居宅介護支援事業所委託 811 件） ・介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 1,422 件 （うち居宅介護支援事業所委託 704 件）	
○介護予防教室参加者支援 ・2 コース （会場：築瀬地域コミュニティセンター、城東地域コミュニティセンター）	
○家族介護教室の開催 『補聴器の体験と介護用品について』3 回（各地区 1 回）	
○ひとり暮らし高齢者等安心ネットワーク事業 ・安否確認 延 12 回（対象者：1 人）	
○地域介護予防活動支援事業 ・対象グループなし	
○保健と福祉のまるごと相談窓口（エールU）としての機能 ・相談対応 延 4 件（令和 5 年度から開始）	

イ. 上河内地域包括支援センター

【宇都宮市からの受託事業（平成 19 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 25,362,671 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	---

取組み内容	
○担当地区	・ 上河内地区
○総合相談支援事業	・ 相談者数 延 403 人（前年度比－93 人）
○地域ケア会議の開催	・ 上河内地区 ①地域課題検討会議 2 回 ②見守り活動会議 1 回
○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	・ 介護予防支援プラン作成 延 660 件 （うち居宅介護支援事業所委託 252 件） ・ 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 235 件 （うち居宅介護支援事業所委託 56 件）
○介護予防教室参加者支援	・ 1 コース（会場：上河内地区市民センター）
○家族介護教室の開催	『認知症の理解と対応について』1 回
○ひとり暮らし高齢者等安心ネットワーク事業	・ 安否確認 延 0 回（対象者：なし）
○地域介護予防活動支援事業	・ 自主グループ及びサロン等への支援 3 団体 延 12 回
○保健と福祉のまるごと相談窓口（エールU）としての機能	・ 相談対応 延 4 件（令和 5 年度から開始）

4. 在宅福祉サービス事業の推進

(1) 様々なニーズに応じたサービスの提供

①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進

事業の目的	市社協が所有する車いすなどの福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の推進を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容	貸出窓口	貸出件数
一時的に車いすや歩行器などが必要になった市民に、貸出を行った。 ・貸出期間 原則として3か月 ・利用料 無料	(市内9か所) ・ボランティアセンター ・河内総合福祉センター ・ことぶき会館 ・ふれあい荘 ・やすらぎ荘 ・すこやか荘 ・上河内老人福祉センター ・雀の宮作業所 ・若草作業所	延458件 (前年度比+7件)

②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

(総事業費 454,610 円)

事業の目的	理美容店に出向いて利用することが困難な65才以上の在宅の高齢者で理美容を希望する者に、訪問理容出張サービスの出張費補助券を提供することで、在宅福祉の充実と向上を図る。
-------	---

申請者	利用補助券	補助券発行枚数
143人 (前年度比-23人)	287枚 (前年度比-87枚)	679枚 (前年度比-132枚)

③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

(総事業費 3,036,613 円)

事業の目的	ひとり暮らしの高齢者の家庭に乳酸菌飲料の配達を通じて訪問し、安否確認と孤独感の解消に努め、在宅福祉の向上を図る。
-------	--

利用者	配達本数	状況確認	緊急対応
延3,669人 (月平均306人)	延42,635本 (前年度比-898本)	103件 ※配達時に不在のため詳細確認	0件

④福祉機器・介護用品展示室の開設

事業の目的	介護を容易にするための福祉機器や介護用品などの情報を提供し、在宅福祉の向上を図る。
-------	---

利用者数
延 60 人 (前年度比+10 人)

5. 組織体制の強化

(1) 会務の運営

①理事会の開催

開催日	議題
令和 5 年 6 月 6 日 (火)	(報告事項) ・ 会長及び常務理事の職務執行状況について ・ 会長専決事項について ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会第 3 次収支補正予算 (議事) ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について ・ 宇都宮市社会福祉協議会役員の選任候補者について ・ 宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・ 宇都宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・ 宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和 5 年 6 月 23 日 (金)	(議事) ・ 宇都宮市社会福祉協議会会長及び副会長の選任について ・ 宇都宮市社会福祉協議会常務理事の選任について ・ 宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
令和 5 年 10 月 26 日 (木)	(報告事項) ・ 会長及び常務理事の職務執行状況について ・ 令和 5 年度宇都宮市社会福祉協議会第 1 次収支補正予算 (議事) ・ 就業規則の一部改正について ・ 給与及び旅費規程の一部改正について

令和 6 年 3 月 8 日（金）	（報告事項） ・ 令和 5 年度宇都宮市社会福祉協議会第 2 次収支補正予算 （議事） ・ 令和 6 年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について ・ 令和 6 年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について ・ 令和 6 年度宇都宮市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について ・ 宇都宮市社会福祉協議会理事の選任候補者について
----------------------	---

②監事会の開催

開催日	議題
令和 5 年 5 月 25 日（木）	（監査） ・ 令和 4 年度事業執行及び会計処理について

③評議員会の開催

開催日	議題
令和 5 年 6 月 23 日（金）	（議事） ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について ・ 令和 4 年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について ・ 宇都宮市社会福祉協議会役員の選任について
令和 6 年 3 月 26 日（火）	（議事） ・ 令和 6 年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について ・ 令和 6 年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について ・ 宇都宮市社会福祉協議会理事の選任について

④評議員選任・解任委員会の開催

開催日	議題
令和 5 年 6 月 6 日（火）	（議事） ・ 評議員の選任について
令和 5 年 6 月 23 日（金）	（議事） ・ 評議員の選任について

(2) 苦情解決体制

①第三者委員会の開催

事業の目的	市社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するとともに、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護と、サービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図る。
-------	--

開催日	議題
令和 5 年 9 月 14 日 (木)	(報告事項) ・ 宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決制度の概要について ・ 宇都宮市社会福祉協議会事業概要について ・ 令和 4 年度苦情等の状況について [苦情件数] 8 件 (前年度比+3 件) ・ 職員の対応・接遇に関すること 4 件 ・ 施設の管理・利用に関すること等 4 件

(3) 身体的拘束等の適正化の推進

事業の目的	障害者総合支援法における運営基準 (※) に基づき、障害福祉サービス等事業所における虐待防止や身体拘束の適正化を図る。 (※) 令和 4 年 4 月から、①職員への研修実施 ②虐待防止委員会の設置、③虐待の防止のための責任者の設置が義務化された。
-------	--

①虐待防止・身体拘束適正化検討委員会の開催【新規】

開催日	議題
令和 6 年 2 月 14 日 (水)	(報告事項) ・ 虐待防止・身体拘束適正化に係る研修の実施について (議事) ・ 虐待防止マニュアルの見直しについて ・ 身体拘束適正化のための指針策定について

②地域活動支援センター合同職員研修会の開催

開催日	内容
令和 6 年 3 月 2 日 (土)	・ 接遇研修 (話し方・接し方・コミュニケーションの取り方など) ・ 虐待防止・身体拘束適正化 (作業所における身体拘束適正化等の啓発と事例等) ・ 虐待防止マニュアル見直しについて

(4) 地区社会福祉協議会との連携強化

①地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議題
令和 5 年 4 月 14 日 (金)	・ 令和 5 年度宇都宮市社会福祉協議会「会員会費募集」について ・ 「栃木県知事表彰」「栃木県共同募金会会長表彰」被表彰候補者の推薦について ・ 令和 5 年度「各種申請書等」の提出について
令和 5 年 6 月 16 日 (金)	・ 令和 5 年度日赤社資募集運動の実施について ・ 令和 5 年度敬老会助成金の交付申請について
令和 5 年 9 月 12 日 (火)	・ 令和 5 年度「赤い羽根共同募金運動」の実施について ・ 令和 5 年度「地域歳末たすけあい募金運動」の実施について

②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議題
○中央ブロック 令和 6 年 1 月 29 日 (月)	(報告事項) ・ ふれあい会食事業における配食による実施方法への助成終了について ・ 令和 5 年度各種研修会の実施報告 (説明事項) ・ 地区福祉のまちづくり計画の策定について (意見交換) ・ 敬老会の実施における各地区の現状について ・ 各地区の活動状況について
○東部ブロック 令和 6 年 1 月 31 日 (水)	
○西部ブロック 令和 6 年 2 月 8 日 (木)	
○南部ブロック 令和 6 年 2 月 20 日 (火)	
○北部ブロック 令和 6 年 2 月 1 日 (木)	

(5) 職員育成のための研修の実施

事業の目的	職員育成方針に基づき、職員のスキルアップと職業人としての人間力及び組織力の向上を図る。
-------	---

①新規採用職員研修

取組み内容	開催日・場所
・宇都宮市社協の概要とサービス、事務処理など ・グループワーク『インタビューから知る、学ぶ社協の魅力』 講師：宇都宮市社会福祉協議会職員 ・ビジネスマナーの基本 ・コンプライアンスの遵守とリスクマネジメント 講師：有限会社エファ 代表取締役 菊地 理恵 氏 ・良好な人間関係と仲間づくり 講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会 理事長 廣瀬 隆人 氏	令和 5 年 4 月 18 日 (火) 4 月 19 日 (水) 4 月 21 日 (金) 4 月 25 日 (火) 5 月 30 日 (火) 市総合福祉センター

②階層別研修【新規】

取組み内容	開催日・場所
○管理職 『中期経営計画策定セミナー（オンライン）』 講師：全国社会福祉協議会 地域福祉部	令和 5 年 9 月 6 日 (水) 市総合福祉センター
○困難主査、主査、主任 『問題解決のための論理的思考力アップ研修(ロジカルシンキングの活用法)』 講師：有限会社エファ 代表取締役 菊地 理恵 氏	令和 5 年 11 月 30 日 (木) 中央生涯学習センター
○主任、主任主事、主事 『生産性がアップする話し合いの進め方研修(ファシリテーション研修【基礎編】)』 講師：きくあつ企画 菊地 敦子 氏	令和 5 年 11 月 29 日 (木) 市総合福祉センター

6. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会会員制度の充実

事業の目的	市社協の理念や活動に賛同し、地域福祉の推進を財政的に支援していただける市民や企業・団体などの会員の充実を図る。
-------	---

取組み内容		
地区社会福祉協議会や自治会の協力を得て、市社協事業の普及啓発と、地域福祉事業を推進するための会員会費（自主財源）の確保に努めた。		
会員種別	会費実績額	前年度比
普通会員 (各世帯)	30,582,518 円	－781,118 円
特別会員 (個人)	62,300 円	－700 円
団体会員 (社会福祉施設、団体など)	455,000 円	＋54,000 円
賛助会員 (企業、事業所、個人など)	3,035,000 円	＋705,000 円
合計	34,134,818 円	－22,818 円

(2) ぎんなん基金事業の充実

①ぎんなん基金の運用

事業の目的	社会福祉を振興するための財源として、ぎんなん基金の安全な管理と効果的な運用を図る。
-------	---

取組み内容		
○寄付の状況		
種別	寄付金額	前年度比
個 人	438,220円	－482,491円
企 業	643,006円	＋207,770円
団 体	1,844,749円	＋51,934円
募金箱	410,390円	－70,954円
合 計	3,336,365円	－293,741円
○募金箱の設置		
市内のスーパー、銀行など89箇所に設置（前年度比＋3箇所）		

②ぎんなん基金運営委員会の開催

開催日	議題
令和 6 年 2 月 13 日 (火)	(報告事項) ・令和 5 年度ぎんなん基金の状況について ・令和 5 年度ぎんなん基金の取組み実績及び取組み課題について (協議事項) ・令和 6 年度ぎんなん基金の取組みについて

③ぎんなん基金助成対象事業の実施

事業の目的	広く社会福祉の増進を図るため、市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会などが実施する事業に対し、ぎんなん基金による助成を行い地域福祉の推進を図る。
-------	---

ア. 地区社会福祉協議会が実施する地域福祉事業への助成

(総助成額 9,357,454 円)

事業人	取組み内容	実施地区
ひとり暮らし高齢者 ふれあい会食助成事業	対象者 1 食あたりに対し、400 円を助成した。 (助成総額 6,874,374 円)	32 地区
地区見守り活動 助成事業	見守り対象者 1 人あたりに対し、200 円を助成した。 (助成総額 934,200 円)	4 地区
地区福祉情報発信 助成事業	地区住民を対象とした福祉情報の発信や啓 発事業に助成した。 (助成総額 310,000 円)	7 地区
地区住民交流助成事業	高齢者、障がい者、子供、外国人など、地区 住民の交流を目的とした事業に助成した。 (助成総額 300,000 円)	10 地区
地域共生社会推進事業	地域共生社会の推進に資する事業に助成し た。 (助成総額 500,000 円)	10 地区
地区福祉のまちづくり 計画支援事業	地区の福祉のまちづくり計画の策定、策定後 の進行管理事業に助成した。 (助成総額 100,000 円)	2 地区
地区子ども・若者育成 助成事業	地区の子どもや若者の健全育成を目的とし た事業に助成した。 (助成総額 100,000 円)	2 地区
地区防災・減災活動 助成事業	地区の防災力の向上を目的とした事業に助 成した。 (助成総額 238,880 円)	5 地区

イ. 市社会福祉協議会などが実施する事業への助成

(総助成額 368,000 円)

事業人	取組み内容
居場所づくり支援事業	1 サロンあたり 24,000 円を上限に助成した。 (助成額 240,000 円)
思いやりのこころ育成 支援事業	障がいの理解などを通じて、市民の思いやりの心を育む ことを目的とした出前福祉共育講座に助成した。 (助成額 28,000 円)
高齢者福祉活動 助成事業	市老人クラブ連合会が実施する、高齢者福祉の増進を目的とした老人クラブのつどい(式典)に助成した。 (助成額 100,000 円)

7. 介護保険事業等の推進

(1) 訪問介護事業所の運営

(総事業費 20,461,064 円)

①訪問介護事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳(延人数、延利用回数)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
51 人	89 人	24 人	31 人	12 人	207 人
427 回	1,165 回	399 回	373 回	54 回	2,418 回
(前年度比－72 人 －716 回)					

②介護予防訪問介護事業

事業の目的	要支援者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）			
要支援 1	要支援 2	事業対象者(※)	合計
98 人	125 人	20 人	243 人
518 回	799 回	125 回	1,442 回
(前年度比－73 人 －546 回)			
※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。			

(2) 通所介護事業所の運営

(総事業費 17,437,800 円)

①通所介護事業（河内事業所で実施）

事業の目的	要介護者などの心身の特性を踏まえ、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	--

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）					
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
42 人	55 人	0 人	22 人	0 人	119 人
475 回	563 回	0 回	241 回	0 回	1,279 回
(前年度比－33 人 －576 回)					

②介護予防通所介護事業（河内事業所で実施）

事業の目的	要支援者などの心身の特性を踏まえ、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	--

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）			
要支援 1	要支援 2	事業対象者(※)	合計
13 人	43 人	1 人	57 人
52 回	295 回	4 回	351 回
(前年度比－18 人 －103 回)			
※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。			

(3) 居宅介護支援事業所の運営

(総事業費 11,378,300 円)

①居宅介護支援事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、その計画に基づく介護サービスが適正かつ円滑に提供させるようその進行を管理する。
-------	---

介護度別居宅サービス計画作成内訳（延件数）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3
50 件	178 件	250 件	255 件	113 件
要介護 4	要介護 5	事業対象者 (※)	合計	
58 件	14 件	0 件	918 件	

(前年度比+121 件)

※事業対象者：地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(4) 障がい福祉サービス事業の運営

事業の目的	利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事、生活などに関する相談及び助言並びに外出時における移動の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

居宅介護（ホームヘルプサービス） （延人数、延利用回数）	生活介護（デイサービス） （延人数、延利用回数）
・利用者数 132 人（前年度比－44 人） ・利用回数 1,519 回（前年度比－494 回）	・利用者数 31 人（前年度比＋5 人） ・利用回数 382 回（前年度比＋33 回）

(5) 特定相談支援事業所の運営

事業の目的	障がい児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスなどの利用計画・障害児利用支援計画の作成やモニタリング、相談支援を実施する。
-------	---

計画作成	モニタリング
・指定特定相談支援 53 件 ・指定障害児相談支援 6 件 合計 59 件(前年度比－4 件)	・指定特定相談支援 202 件 ・指定障害児相談支援 14 件 合計 216 件(前年度比－21 件)

(6) 移動支援事業の実施【宇都宮市からの受託事業】(平成 18 年 10 月 1 日受託)

事業の目的	屋外での移動が困難な障がいのある方の外出や余暇活動などの社会参加の際に、訪問介護員が外出の支援を行う。
-------	---

利用状況
利用希望者なし

8. 指定管理施設の管理・経営

(1) 総合福祉センターの管理・経営 (2 施設)

(指定管理期間: 平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

事業の目的	児童、障がい者及び高齢者などの福祉の増進並びに市民の活動による地域福祉の推進を図るための施設として、福祉に関する社会奉仕活動の推進や社会福祉団体の育成、団体の活動の場を提供する。
-------	---

① 宇都宮市総合福祉センター

(総事業費 81,387,000 円)

	種別	利用状況	前年度比
利用状況	開館日数	304 日	±0 日
	会議室など	延 45,070 人 延 4,216 団体	-5,556 人 -100 団体
	健康器具	延 1,305 人	+107 人

② 河内総合福祉センター

(総事業費 65,643,000 円)

	種別		利用状況	前年度比
利用状況	開館日数		295 日	+1 日
	会議室など (団体室、ボランティア室 朗読室含む)		延 8,316 人 延 456 団体	+486 人 -22 団体
	送迎バス		延 9 人	-50 人
	広間など		20,848 人	-999 人
	浴室	60 歳以上	14,040 人	+882 人
		60 歳未満	113 人	+17 人
		障がい者	1,486 人	-318 人
		子ども	3 人	-4 人
健康器具		延 7,385 人	-1,191 人	

(2) 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

(総事業費 229,584,828 円)

事業の目的	高齢者が健康で明るい生活を営むために必要な各種相談や健康の維持増進、教養の向上及びレクリエーションなどの便宜を総合的に図る。
-------	--

①ことぶき会館

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	294 日	+16 日
	利用者数	延 60,517 人	+6,810 人
	送迎バス	延 2,567 人	-106 人
健康相談など	血圧測定	357 人	+354 人
	健康相談	63 人	-18 人
	応急処置	5 人	+2 人
	健康器具利用	15,470 人	+2,527 人
教養講座	講座数	12 講座	±0 講座
	開催回数	延 266 回	+26 回
	参加者数	延 3,274 人	+786 人
年間行事など	ことぶき会館 作品展示会・舞台発表	令和5年10月1日(日)～令和5年11月30日(木)	
	健康講話	11月28日(火) 実施	
	地域小学校との交流会	中止	
	ことぶき健康みんなの大学	20 回	+1 回
	にこにこ体操教室		
	健康チェック、肩こり・腰痛体操教室	11 回	+1 回

②ふれあい荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	293 日	±0 日
	利用者数	延 35,272 人	+733 人
	送迎バス	延 1,138 人	+49 人
健康相談など	血圧測定	2,207 人	+2,101 人
	健康相談	136 人	+4 人
	応急処置	14 人	-16 人
	健康器具利用	12,801 人	-986 人
教養講座	講座数	12 講座	±0 講座
	開催回数	延 252 回	+21 回
	参加者数	延 2,523 人	+322 人
年間行事など	ふれあい荘 作品展示会・舞台発表	令和 5 年 10 月 1 日（日）～ 令和 5 年 11 月 30 日（木）	
	花見演芸大会		中止
	納涼演芸大会		中止
	健康講話	令和 5 年 10 月 18 日（水）実施	

③やすらぎ荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	294 日	+2 日
	利用者数	延 27,388 人	+778 人
	送迎バス	延 3,655 人	+1,102 人
健康相談など	血圧測定	556 人	+325 人
	健康相談	233 人	+1 人
	応急処置	7 人	+3 人
	健康器具利用	14,315 人	+19 人
教養講座	講座数	12 講座	-2 講座
	開催回数	延 298 回	-17 回
	参加者数	延 3,470 人	+176 人
年間行事など	やすらぎ荘 作品展示会・舞台発表	令和 5 年 10 月 1 日（日）～ 令和 5 年 11 月 30 日（木）	
	健康講話	令和 5 年 11 月 22 日（水）実施	
	敬老の日地域中学校演奏会及び交流会		中止
	地域小学校との交流会		中止

④すこやか荘

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	293 日	±0 日
	利用者数	延 40,769 人	+2,496 人
	送迎バス	延 1,874 人	-508 人
健康相談など	血圧測定	272 人	+263 人
	健康相談	26 人	-11 人
	応急処置	19 人	-6 人
	健康器具利用	13,254 人	+1,349 人
教養講座	講座数	12 講座	-1 講座
	開催回数	延 579 回	+292 回
	参加者数	延 3,029 人	+873 人
年間行事など	すこやか荘 作品展示会・舞台発表	令和 5 年 10 月 1 日（日）～ 令和 5 年 11 月 30 日（木）	
	健康講話	令和 6 年 1 月 29 日（月）実施	
	地域幼稚園との世代間交流事業	令和 5 年 10 月 31 日（火）実施	

⑤上河内

	種別	利用状況等	前年度比
利用状況	開館日数	244 日	+1 日
	利用者数	延 4,030 人	+176 人
健康相談など	血圧測定	0 人	±0 人
	健康相談	0 人	±0 人
	応急処置	0 人	±0 人
	健康器具利用	363 人	-93 人
教養講座	講座数	16 講座	+1 講座
	開催回数	延 100 回	-16 回
	参加者数	延 679 人	+28 人
年間行事など	上河内老人福祉センター作品展示会	令和 5 年 10 月 1 日（日）～ 令和 5 年 11 月 30 日（木）	
	健康講話	令和 5 年 12 月 27 日（水）実施	

(3) 地域活動支援センターの管理・経営 (3施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

事業の目的	障がいがあるため雇用されることが困難な方に、通所による生産活動の機会を提供するほか、日常生活訓練や社会適応訓練、職業指導訓練などを行い、障がい者の社会参加と自立の推進を図る。
-------	---

①障がい者福祉センター

(総事業費 39,438,000 円)

事業の目的	利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、通所により機能訓練や社会適応訓練の機会を提供し、地域生活支援の促進を図る。
-------	---

ア. 講座事業

	利用状況等		前年度比等
利用登録者数		86 人	－5 人
講座	講座数	15 講座	±0 講座
	開講回数	288 回	＋4 回
	参加者数	延 1,135 人	－15 人
年間行事など	作品展(市役所市民ホール、松が峰ギャラリー、市民プラザでの作品展示)		
	うつのみやふれあい文化祭 ／わくわくアートコンクール in うつのみや		わく・わく賞 2 人
	宇都宮市民福祉の祭典への参加・作品展示		
	地域活動支援センターとの交流会 (クリスマス会)		
講座の様子	 ▲健康体操講座  ▲絵手紙講座		

イ. 地域活動支援センター事業

	利用状況等		前年度比
利用登録者数		11 人	±0 人
医療生活相談	開催回数	1 回	±0 回
	利用者数	1 人	±0 人
年間行事など	音楽療法		
	レクリエーション (誕生会、節分会、ひな祭り)		
	宇都宮市民福祉の祭典への参加		
	外食訓練		
	料理実習		
	講座事業との交流会 (クリスマス会)		
	野外療育訓練		新型コロナウイルス感染症 の感染防止のため中止

②雀の宮作業所 (総事業費 雀の宮作業所・若草作業所 49,920,085 円)

	利用状況	前年度比
開所日数	243 日	-2 日
利用登録者数	20 人	+1 人
利用者数	延 3,966 人	+170 人
生産活動の 機会の提供	・電機部品の組立 ・菓子箱、イチゴ販売用箱の組立 ・文書の封筒詰め ・ラベルシール貼り ・各種製品箱詰め、袋詰め ・ダンボール製品組立 など	
社会参加・ 自立促進	・社会見学 ・クリスマス会 ・新年の集い ・消防訓練 ・雀宮地域文化祭への参加 ・地域の方への感謝祭実施 ・うつのみやふれあい文化祭への参加	
事業の様子	 ▲作業の様子  ▲社会見学(LRTの乗車体験)	

③若草作業所

	利用状況	前年度比
開所日数	244 日	±0 日
利用登録者数	11 人	－2 人
利用者数	延 2,267 人	－385 人
生産活動の 機会の提供	・玩具部品の組立 ・菓子箱の組立 ・文書の封筒詰め ・ラベルシール貼り ・各種製品箱詰め、袋詰め ・ダンボール製品組立 ・取扱説明書封入作業 など	
社会参加・ 自立促進	・社会適応訓練 ・クリスマス会 ・新年の集い ・館外レクリエーション ・わくわく工作会 ・お楽しみ会食会 ・避難誘導訓練 ・うつのみやふれあい文化祭への参加など	
事業の様子	 ▲作業の様子  ▲野外レクリエーション(いちご狩り体験)	

(4) 指定管理施設の管理・経営の充実

①事業経営委員会の開催

開催日	議題
令和 6 年 2 月 13 日 (火)	(報告事項) ・令和 5 年度指定管理事業及び介護保険事業等の経営状況について (協議事項) ・令和 6 年度指定管理事業及び介護保険事業等の取組みについて

